

御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略～魅力ある御坊を次世代へ～ vol.5

日本全体で人口減少が急速に進行する中、御坊市では、人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化させるため、「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、本年度より本格的に地方創生に取り組んでおり、広報ごぼう6月号から、広報紙面で、「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について随時ご紹介しています。

◇御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「人口ビジョン」と「総合戦略」からなる計画です。

人口ビジョンは、御坊市の人口の現状や動態を分析し、将来の目標人口と目指すべき方向性を示したものです。

総合戦略は、その目標達成に向けた具体的な施策をまとめたものです。

今回は、人口ビジョンで示した目標人口を達成するために定めた4つの基本目標の1つ、「新しいひとの流れをつくる」についてご紹介します。

前回(vol.4)までの掲載分については、市のホームページ(<http://www.city.gobo.wakayama.jp/sosiki/somu/kikaku/tanto/sosei/koho.html>)でご確認ください。



基本目標2 「新しいひとの流れをつくる」

基本戦略 「若者がとどまりたくなる、戻りたくなる環境を形成する」

まちへの愛着を深め、まちのリーダーを育てることで、子どもたちが将来暮らしたいと思える環境を形成します。

あわせて、まちの魅力や企業情報を効果的に発信することで、交流の活性化や、企業誘致、U・Iターンを促進します。

これら一連の取り組みを通して、御坊市への新たな「ひと」の流れを生み出します。

【数値目標】

若年層(15歳～39歳)の転出者数

529人(平成27年)→450人(平成31年)

若年層(15歳～39歳)の転入者数

397人(平成27年)→457人(平成31年)

【具体的な施策】

①まちへの愛着を深める

- まちを知る
- まちに親しむ
- まちの未来を考える

②未来のリーダーを育てる

- 夢と希望を育む教育
- 自然に親しむ機会の創出
- 防災教育の実施

③U・Iターンの推進

- 地元企業の情報発信
- 空き家の活用

④交流の活性化

- 情報発信の強化
- 都市間交流の促進
- 広域的な観光の推進

⑤企業誘致の推進

- 誘致活動の強化
- サポート体制の充実

《主な取り組み》

- ・熊野古道、寺内町等を案内する語り部の育成
- ・散策マップ、絵本、かるたの作成
- ・交流都市への中学生の派遣及び交流

《主な取り組み》

- ・特別講師を招いた授業の実施
- ・わんぱく王国等の自然体験活動の実施
- ・防災体験教室の開催

《主な取り組み》

- ・地元企業見学の実施
- ・空き家実態調査の実施

《主な取り組み》

- ・観光プロモーションビデオの作成と旅行会社等へのプロモーション活動

《主な取り組み》

- ・誘致企業のフォローアップ



▲語り部と寺内町散策



▲御坊市紹介かるた



▲防災体験教室

◇問い合わせ 企画課 ☎0738-23-5518